

さいたま市立宮原小学校

学校だより



平成30年1月9日 第9号

学校教育目標 心身ともに健やかで主体的に生きる子どもの育成
・たがいに努める子・たがいにきたえる子・たがいに手をとる子

〒331-0812 さいたま市北区宮原町4-102-6
Tel 048-664-5153 FAX 048-664-8989

さらなる高みを目指して

校長 新堀 栄

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。毎年のごことですが、元旦は年が改まったというだけで、何か心まで穏やかで清らかな気分になります。『初日（はつひ）』。それは、昨日と同じ太陽であってたった一日の違いなのに、陽光が一段と輝いて感じられ、普段見慣れている景色さえ新鮮に感じます。

5日の『小寒』を過ぎ、寒の入りを迎えました。文字通り、一年の中で寒さが最も厳しくなり始める時期となりましたが、今から暖かな春が待ち遠しいかぎりです。

年末年始には、新聞でもテレビでも、プロ棋士である藤井聡太さんの対談が多くあり、その中に算数に関する内容（今回は割愛します）もあったので、大変興味をもちました。

もう、みなさんご存じのように、藤井聡太さんは、現在中学校3年生で、将棋界では、「不滅」といわれた大記録を30年ぶりに塗り替える29連勝を達成した最年少プロ棋士です。中学生でのプロ入りは、昨年引退した加藤一二三9段、谷川浩司9段、そして、将棋で史上初の「永世七冠」を達成し、国民栄誉賞授与が決定した羽生善治9段他、5人目です。対談では、小学校時代のエピソードにも触れ、負けず嫌いな性格で、将棋に負けたたびに号泣していたこと、卒業文集の「将来の夢」に、「名人を超す」と書いてあったことなどが紹介されていました。これから中学校生活最後の3学期を迎えるということで、当然進路のことも話題に挙がりました。現在の国立大学の附属中学校を卒業して、このままプロの道（棋士道）に進むのか、それとも高校に入学するのか…。藤井聡太さんは、視野を広くもって、さらにいろいろなことを吸収したいとの理由で、高校入学を決意しました。

将棋では、よくプロ棋士対AI（人工知能）ロボットの対戦が話題となりますが、AIは、私たちの生活に徐々に浸透し始めています。この先、AIに取って変わられ、なくなる職業があると言われていて、オックスフォード大学の准教授が発表し、日本でもある研究所が発表しています。それによると、日本の職業の49%が、10年から20年の間に機械やロボットによって代替が可能になるといわれています。また、現在小学校6年生の子ども達が40歳になる2045年頃には、多くの仕事がAIに替わると予測されています。2045年には、「シンギュラリティ」（技術的特異点）を迎え、人工知能が人間の能力を超えることで、人間には未来予測ができないほどのスピードで変革する時代がやってくるからです。

逆にその時代にも残る仕事は、単純な作業ではなく、圧倒的な能動思考を求められる仕事であり、つまり自分で社会の問題点を見つけて解決しようとしたり、自ら新しいものを生み出そうとしたりする仕事が目に見えます。来るべき時代に備え、子ども達に能動的な思考力を身に付けさせるには、関心のある分野から目標を設定し、目標を達成するために必要なことを考え、PDCAを繰り返していくことが重要であると考えます。成功体験を積むことにより、さらに目標を達成したり、目標に近付いた実感を得られたりすれば、自信とチャレンジ精神を手に入れて、自ずと能動思考になっていきます。

新年にあたって、新たな目標を立てる良い時期だと思います。ちなみに、藤井聡太さんの今年の抱負は、『飛翔』だそうです。また、藤井聡太さんが、対談で語っている中に印象的な言葉がありました。「(今後) AIの強さが絶対的になっても、なぜその手を選んだのかという過程は説明できない。それを言語化するのは人間である…。」と。

避難訓練を行いました。

12月8日（金）に、避難訓練を実施しました。今回の避難訓練は、地震及び火災発生時の避難を実際に行うとともに、北消防署の方をお迎えし、訓練の様子について講評をいただきました。また、消防士の方の指示のもと教員が行う消火訓練を、児童が見学しました。

これらの実践等を通して、児童の望ましい避難態度を育んだり、安全に対する意識を高めたりすることができました。

＜教員による消火訓練の様子＞

選挙出前授業（6年）

12月19日（火）に、市の選挙管理委員会の皆様を講師にお迎えし、6年生が選挙について学習しました。

始めに、講師の方から選挙について解説があった後、模擬投票を行いました。児童は、前日に配付された各候補者の公約が書かれた資料を見たり、候補者の演説のビデオを見たりした上で、投票を行いました。実際に使用される投票用紙や投票箱を活用していたこともあり、貴重な体験となりました。

＜投票の様子＞

教職員研修を行いました。

12月4日（月）に、本校の教職員が「児童、保護者と信頼関係を築く」というテーマで研修を行いました。

具体的には、人間関係づくりのエクササイズや、面接の基本的な技法についての演習に取り組みました。

今後、本研修を踏まえて、ンセリングマインドを生かした指導につなげたいと考えています。

＜研修の様子＞

子どもたちの見守りをお願いいたします。

新学期が始まりました。お子様の様子はいかがでしょう。長期の休み中に生活のリズムが乱れていると、学校が始まってから体調を崩したり、不安な気持ちになったりすることがあります。学校でも、児童の話の聞いたり、様子を見たりいたしますが、ご家庭でも見守りをお願いいたします。なお、お子さんのことで気になることがありましたら、早めに担任へ連絡をお願いします。また、さわやか相談等もご活用ください。

第2回防犯ボランティアリーダー連絡会議

12月13日（水）に、第2回防犯ボランティアリーダー連絡会議を開催しました。日頃からお世話になっている防犯ボランティアリーダーの皆様、PTA本部役員・地区委員の皆様から、日頃の児童の状況等について、ご意見をいただきました。

○ 寒さのためポケットに手を入れて登校している児童がいるので、手袋を着用することが望ましい。

○ 歩道と車道を仕切る縁石に乗ったり、歩道から車道にはみ出したりしている児童がいて危険なため、指導をしてほしい。

○ 相手の目を見て挨拶をする子、下校時に「お疲れ様です。」と言ってくれる子がいるので、ほめてほしい。また、低学年はよく挨拶をしてくれるが、高学年は恥ずかしそうに通り過ぎる様子が見られる。

○ 信号のある横断歩道を渡る時は、信号だけではなく車の動きも確認することが大切である。（歩行者用信号が青でも、車両用信号が赤であることを見落とし車横断歩道に進入してくることがあるため）

これらについて、2学期末の一斉下校や朝の登校指導時、学級などにおいて、指導を行いました。ご家庭でも話題にいただき、交通安全についてご指導をいただきますようお願いいたします。また、地域の皆様には、引き続き児童の見守りに、ご協力をお願いいたします。

＜お知らせ＞

◇今週、さいたま市教育委員会作成の資料を各家庭に配付いたします。ご覧ください。

「さいたま市小・中一貫教育」保護者向けリーフレット

平成26年度から、全ての市立小・中・特別支援学校で取り組んでいる「さいたま市小・中一貫教育」の取組から見られる成果について、紹介しています。

さいたま市道徳リーフレット

来年度から始まる「特別の教科 道徳」について、どのような授業や評価を行うのか等について、説明しています。

◇1月20日（土）は、学校公開日です。（9：30～11：25）児童の学校生活の様子をぜひご覧ください。今回は、全校児童の「書きぞめ」を展示したり、3年生は、南方神社新神楽の会の皆様のご協力により、「新神楽」の体験などを行ったりします。なお、お越しの際は、防犯のため、名札やストラップの着用をお願いいたします。

今月の生活目標 「健康に注意しよう」